

体験型の観光プログラムを目指して

沖縄尚学高等学校附属中学校 1年生 下地 冨弥

2017年沖縄を訪れた観光客数がハワイを訪れた観光客よりも1万3200人多くなっていることを知り驚きました。なぜなら、テレビで紹介されるハワイは、沖縄と似た気候ですが、風景がとても美しく、ホテルも豪華で、街にはたくさんの国の人たちでにぎわう世界的に有名な観光スポットだと思っていたからです。

しかし、新聞記事を読んでも沖縄の観光客数がハワイよりも多くなっただけでは喜べないことが分かりました。それは、沖縄を訪れる観光客1人あたりの滞在日数や平均消費額が少ないことです。沖縄県のデータによると、ハワイの平均滞在数は、約9日間ですが、沖縄は約4日間。平均消費額はハワイが19万円に比べて、沖縄は7万円。その差は2倍以上もあります。沖縄も独特の文化を持つ、魅力的な観光地なので観光客数が伸びていると思いますが、大きな差が出る理由は何でしょうか？

ハワイは海、フラダンス、ネイティブハワイアンのイメージをブランド化し、世界中に発信しています。また、大型会議施設や大型ショッピングモールを作り、多くの富裕層を取り込んでいるようです。

これからの沖縄観光は、海だけではない沖縄独特の歴史・文化をもっと情報発信していくべきだと思います。

私は、沖縄観光をより良くするために、空手や、エイサー、ハーリー、三線などの伝統文化を取り入れた観光体験プログラムをたくさん作ってみることを提案します。

その理由は、単にものを消費するのではなく体験することで興味がわくと思います。

私の伯父が外国人に向けた沖縄料理の体験教室を運営しています。伯父は、ヨルダンに旅行に行った際に現地の料理体験プログラムに参加して、とても印象に残ったといいます。客層は、ヨーロッパやアメリカなど西洋の外国人が多く、団体旅行者よりも、個人旅行者が多いようです。

体験プログラムは、観光客と一緒に那覇市の公設市場に行って、お店に並ぶグルクンやゴーヤー、ジーマーミー豆腐などの沖縄の食材を食べ歩きしながら説明を聞いたり市場の人たちとの会話を楽しんでいるようです。

その後、市場で買った食材を使い、沖縄そばやゴーヤーチャンプルーを料理します。

沖縄のあたりまえのことが、文化が違う海外の人たちにとっては、発見や感動につながっているといいます。

私が、神戸の六甲山に旅行した際に、牧場で羊の乳しぼりをし、アイスクリームを作りました。おいしくて、今でも感動したのを覚えています。なので、沖縄でも紅いもほりをして、紅いもスイーツを作るプログラムもおもしろいと思いました。

他にも、沖縄には空手の有名な先生がたくさんいます。そのため、歴史を学ぶだけではなく、有名な先生から教えてもらうことで価値が高まるのではないのでしょうか？

そして、沖縄の観光プログラムを増やしていくためには、人が必要です。また、沖縄の文化を紹介できる人でなくてはならないと思います。それには、私も含め県民がもっと地元を深く知らなければなりません。そのためもっと身近に、地域や文化を学べる場所があった方が良くと思いました。

学校の授業で稽古に励む空手も、大学に進学する前に黒帯を取りたいと考えています。

沖縄の伝統を体を使って表現できる人になりたいです。

また、海外に留学することが目標なので、そのときまでに、沖縄の良さをたくさん発見し、海外の人たちに伝えたいです。そして、1人でも多くの観光客に沖縄に来てもらえるよう、自分から積極的に歴史を学び海外の人とコミュニケーションをしていきたいです。